



2024年9月9日開催

愛媛県内企業とスタートアップの マッチングイベント レポート

愛媛県経済労働部産業創出課

EHIME新事業ラボの概要

愛媛県内企業と首都圏や関西圏等のスタートアップとの共創により、新事業の創出を目指す事業です。

新規事業創出は自社だけでは難しい・・・



スタートアップ×愛媛企業で、新ビジネスを！

スタートアップ
企業

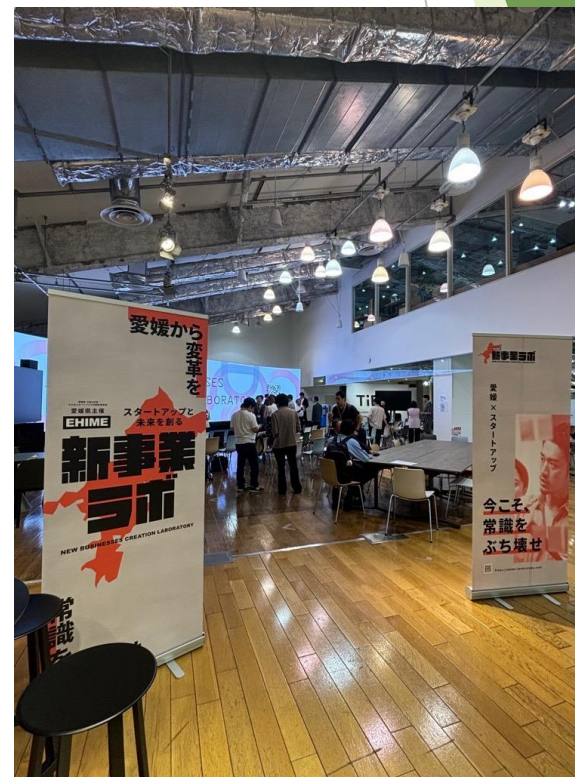


愛媛企業

イベント概要

優秀なスタートアップに参画してもらうため、県内企業からスタートアップへのリバースピッチイベントを実施しました。

- 目的 新事業開発に取り組む県内企業と首都圏のスタートアップとのマッチング
- 日時 2024年9月9日（月）
- 会場 Tokyo Innovation Base 2階
（東京都千代田区丸の内3-8-3）
- 内容
 - 県内企業からの共創テーマに関するピッチ
 - 県内企業とスタートアップの交流



登壇者（県内企業）紹介



株式会社 ダイキアクシス
代表取締役社長 大亀裕貴 氏

- ・会社紹介
- 各種排水処理装置の設計・施工・維持管理 他
- ・共創テーマ
- 環境関連、再生エネルギー、住宅設備関連、地域活性化・若者支援
- ・スタートアップに求めるもの
- 新たなテクノロジーやノウハウを持ち、地域活性化に貢献しているスタートアップ



南海放送 株式会社
東京支社長 鴨川政史 氏

- ・会社紹介
- 愛媛県を放送対象地域とした基幹放送事業
- ・共創テーマ
- 地域の課題解決に向けたテーマを軸に新規ビジネスに挑戦する
- ・スタートアップに求めるもの
- 人材不足の課題解決に寄与することができるスタートアップ、新たなコンテンツ制作に寄与することができるスタートアップ 他



カミ商事 株式会社
開発企画部 柏田祥策 氏

- ・会社紹介
- 紙の原料調達から、研究・開発、製造・加工、販売・物流までを手掛ける紙の総合事業
- ・共創テーマ
- 新素材アモルセルのビジネス化
- ・スタートアップに求めるもの
- 航空宇宙系、eスポーツ、ものづくり、建設、電子部品、脱炭素、水素エネルギー等本素材の活用を考えられるスタートアップ

県内企業ピッチの様子（ダイキアクシス）



株式会社ダイキアクシスからは、代表取締役社長の大亀氏が登壇。

地球温暖化を社会全体の課題として掲げ、企業や個人に求められる環境配慮・脱炭素への取組に注力し、いずれは地域課題を解決する地方拠点の上場企業として地域貢献を果たしたいと熱く語りました。

環境・住宅建設事業を軸とした既存事業に付随・連携する新規事業開拓においてスタートアップと連携を図りたいとの方針に対し、参加者からは、社内での新規事業開拓の可能性について質問があり、CVC子会社ファンドによる資本連携等、いくつかの選択を検討したいと答えていました。

県内企業ピッチの様子（南海放送）



南海放送株式会社からは、東京支社長の鴨川氏が登壇。南海放送の会社概要や地域に寄り添った事業の取組について説明しました。

新規事業への取組としては、2024年4月に社内横断的にメンバーを選任し、「新規ビジネスへの挑戦」と「既存業務の効率化・DX」を目標に掲げて「収益力強化プロジェクト」を設立して活動を開始。2024年7月には新たに「DX推進プロジェクト2024」を立上げ、業務効率化とDX推進を手掛けていき、2024年10月以降メディアビジネス関連領域を中心とした「クローズドイノベーション」から「オープンイノベーション」に領域を拡大し成長を加速させていきたいと意気込みを語りました。

県内企業ピッチの様子（カミ商事）



カミ商事株式会社からは、開発企画部の柏田氏が登壇。同氏は近年まで大学教授として勤務していたこともあり、軽快な話術で会場を引き込みながら自社開発の新素材「アモルセル」を活用したビジネス展開について語りました。

「アモルセル」はプラスチックを超える^{はるかに}靱性がありながら、生産・廃棄に関する環境負荷が小さいサステナブル新素材。同社の既存事業の柱のひとつである家庭紙・紙おむつ事業は、今後の人口減少とともに衰退が予想されることから、新素材を軸とした事業展開を目指し、まずは新素材の活路を見出すことからスタートアップとの連携を図りたいと話しました。

愛媛県内企業とスタートアップの交流

県内企業からの共創テーマに関するピッチの後は、スタートアップを交えながら、テーブルを囲んで交流が行われました。

スタートアップからは、県内企業の方に新規事業を行う取組にどれくらい注力していきたいと考えているのか、事業を行う規模感などを質問したり、県内企業が取り組んでいきたい事業に自分たちはこういう形で関われるという意欲を伝えたりし、また、県内企業は現在新規事業として実際に取り組んでいることや今後の地域課題解決のための事業のビジョンについて伝え、会場はととても盛り上がっていました。



総括



新規事業を実現させるために、企業とスタートアップが実際に交流することで、互いを知り、事業実現のイメージを膨らませるとても貴重な機会になったのではないかと思います。今回のイベントを通して、マッチングが成立し、新事業創出につながることを期待します！

TIBの紹介

今回のイベントの会場となったTIB（Tokyo Innovation Base）は、2024年5月に開設されたスタートアップ企業とその支援者の交流拠点です。スタートアップ企業の成長支援やネットワークの形成・拡大を目指し、東京都が開設しました。

施設内には、個人・複数でのワーキングスペースや交流スペースの他に、3Dプリンターをはじめとした約2千点の機材が無償で提供されたものづくりの実証フィールドや、スタートアップ商品を試験的に販売する場が設けられている上、利用者は「東京開業ワンストップセンター」及び「ビジネスコンシェルジュ東京」のサービスにより法人設立等に必要な行政手続きサポートや外国企業向け支援を受けることができます。

会員数は9月上旬時点で400名を超え、その多くは口コミにより利用者の輪が広がっており、日々賑わいが増しているとのこと。

